

無線LANバック セットアップ ガイド

保存版

WL111003



CONTENTS

ご利用開始までの流れ	P 1 ~
Step1 設定をはじめる前に確認しましょう	P 3 ~
Step2 モデムに無線 LAN カードを取り付けましょう	P 9 ~
Step3 モデムのセキュリティ設定を行いましょう	P11 ~
Step4 パソコンのセキュリティ設定を行いましょう	P22 ~
無線 LAN の詳細設定	P29 ~
トラブル解決 Q&A	P71 ~





無線LANパックセットアップガイド ご利用開始までの流れ

Step 1

設定を始める前に確認しましょう

無線LANのご使用にあたり、ご注意くださいことをよくお読みください。
ここで、お客様にご用意いただくものを確認しましょう。



Step 2

モデムに無線LANカードを取り付けましょう

モデム用無線LANカードを、モデムに取り付けます。



Step 3

モデムのセキュリティ設定を行いましょ

無線LAN通信をより安全にご利用いただくためのセキュリティ設定を行います。設定の際はモデムとパソコンをLANケーブルで接続する必要があります。



Step 4

パソコンのセキュリティ設定を行いましょ

最後に、パソコンのセキュリティ設定を行います。
※パソコン用無線LANアダプタをご利用の場合は、あわせてドライバのインストールを行います。



無線LANの設定は以上で終了です。

詳細な機能を設定される場合やご不明点がある場合は、該当する下記のページをご覧ください。

トリオモデム26M/トリオモデム3-G/トリオモデム3-G plus/BBモデム4-G/光BBユニットのお客様▼

トリオモデム12Mのお客様▼

無線LANの詳細設定目次	P 29	P 30
SSIDを変更する	P 31	P 18
無線チャンネルを変更する	P 33	P 61
無線LAN通信規格の設定を変更する	P 35	
無線LAN端末どうしの通信を制限する	P 37	P 63
使用者を制限する(MACアドレスフィルタリングの設定)	P 39	P 65
無線LANを暗号化する(WEPキーを利用する場合)	P 43	P 18
無線LANを暗号化する(WPA-PSKを利用する場合)	P 47	
SSIDの隠蔽を設定する	P 50	P 64
該当IPアドレスを設定する	P 51	P 67
有線LANと無線LANの通信を制限する	P 53	
ポート転送(静的IPマスカレード)を設定する	P 55	P 69
UPnP機能を設定する	P 57	
パスワードを変更する	P 59	P 70

- 無線LANのご使用にあたって、安全のために特に注意してください P 3
- モデム用無線LANカードを確認しましょう P 5
- お客様にご用意いただくもの P 6
- 無線LAN機能を内蔵したパソコンの確認方法 P 7

- モデムに無線LANカードを取り付ける P 9
- モデム用無線LANカードの取り付け方法 P 10

- 「セットアップメニュー」画面にログインする P 11
- SSIDとWEPキーを設定する
トリオモデム26M／トリオモデム3-G／トリオモデム3-G plus／BBモデム4-G／光BBユニットの場合・・ P 14
トリオモデム12Mの場合 P 18

- パソコンのセキュリティ設定を行う P 22
- 無線LAN機能を内蔵したWindows 7の場合 P 23
- 無線LAN機能を内蔵したWindows Vistaの場合 P 25
- 無線LAN機能を内蔵したWindows XP(SP3)の場合 P 27

本文中の表記について

本文中に記載されている「モデム」、「モデム用無線LANカード」は、それぞれ以下を指しています。

モデム

- ・BBモデム4-G
- ・トリオモデム3-G plus
- ・トリオモデム3-G
- ・トリオモデム26M
- ・トリオモデム12M
- ・光BBユニット

モデム用無線LANカード

- ・無線LAN カード
- ・無線LAN カードV.1
- ・無線LAN カードV.2
- ・無線LAN カードV.3

ご利用いただくモデム・モデム用無線LANカードは、お申し込みいただいた時期やサービス内容によって異なります。お手元のモデム・モデム用無線LANカードのタイプをご確認のうえ、本誌をご覧ください。

さあ、始めよう！



無線LANのご使用にあたって、安全のために特に注意してください

無線LANを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。

使用している警告表示の意味

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用している絵記号の意味

 △記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

 ● 記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容が描かれています。

 警告	
 分解禁止	本製品の分解や改造を自分でしないでください。 火災や感電のおそれがあります。
 強制	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 強制	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 水辺での使用禁止	風呂場などの水分・湿気の多い場所で、本製品を使用しないでください。 火災や感電のおそれがあります。
 強制	本製品を取り付け、使用する際は、必ず電話機メーカーおよびパソコンメーカーならびに周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。
 強制	心臓ペースメーカーをご使用の方の近くや医療機器の周囲で本製品を使用しないでください。

⚠ 注意

 強制	電源コードがコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。感電の原因となります。
 強制	静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失させるおそれがあります。
 強制	本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
 強制	次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。 ・強い磁界が発生するところ（故障の原因となります） ・静電気が発生するところ（故障の原因となります） ・震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります） ・直射日光が当たるところ（故障や変形の原因となります） ・火気の周辺、または熱気のこもるところ（故障や変形の原因となります） ・漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります） ・漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
 強制	同梱のモデム用無線LANカードは、パソコン・PDAなど、モデム（BBモデム4-G/トリオモデム/光BBユニット）以外の機器に装着したり、利用したりしないでください。モデム（BBモデム4-G/トリオモデム/光BBユニット）以外の機器に装着したり、ご利用になったことによって生じた損害・トラブルに関しては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● ⚠ 電波に関する注意 ●

この機器の使用周波数帯では、電子レンジや科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉を回避してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、モデムに同梱のお問い合わせ先一覧をご覧ください。

モデム用無線LANカードを確認しましょう

無線LANの設定前に、お届けしたモデム用無線LANカードを確認しましょう。
モデム用無線LANカードは、ご利用のサービスに応じて種類が異なり、下記のいずれか1枚のカードが入っています。

- ・ 無線LAN カード
- ・ 無線LAN カードV.1
- ・ 無線LAN カードV.2
- ・ 無線LAN カードV.3



モデム用無線LANカードの外観写真



モデム用無線LANカードには表面／裏面があり、モデムに取り付ける際は正しい方向で差し込む必要があります。P10をご参照のうえ、正しく取り付けてください。

表面／裏面の外観写真（一例）

表面にはカラー印刷のラベルが貼られています。

裏面には認証ラベルとバーコードラベルが貼られています。

表面

裏面

ランプ名称

※記載がない
機種もあります。

カラー印刷
ラベル



認証ラベル

バーコードラベル

※認証ラベル、バーコードラベルの
貼付位置は機種により異なります。

製品の的外観およびラベルのデザインは、カードの種類や発送時期により若干異なりますのでご了承ください。

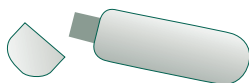
お客様にご用意いただくもの

近年、各パソコンメーカーから、無線LAN機能(無線LANアダプタ)を内蔵したパソコンが多数販売されています。お客様がお使いのパソコンが無線LAN機能を内蔵したものであれば、あらためてご用意いただくものではありませんが、無線LAN機能を内蔵していないパソコンをお使いの場合、パソコン用無線LANアダプタを、別途ご用意いただく必要があります。下記をご参照のうえ、ご用意をお願いいたします。



無線LAN機能を内蔵したパソコンかどうか、次のページでご確認いただけます。

「パソコン用無線LANアダプタ」をご用意いただく際のご注意点



〈一例〉

ご用意いただく際は、無線LAN規格がIEEE802.11g/b準拠の「パソコン用無線LANアダプタ」を推奨しております。

※パソコン用無線LANアダプタは、電器店などで販売されています。

ヒント



IEEE802.11gでご利用可能なパソコン用無線LANアダプタ

IEEE802.11b(規格値11Mbps*)とIEEE802.11g(規格値54Mbps*)は互換性があるため、IEEE802.11b準拠のパソコン用無線LANアダプタでもお使いいただけますが、その際はIEEE802.11b(規格値11Mbps*)での通信となります。IEEE802.11gのパソコン用無線LANアダプタをお客様ご自身でご用意いただければ、モデム側の無線LANカードとパソコン用無線LANアダプタの双方がIEEE802.11gとなりますので、IEEE802.11gでの通信が可能となります。

*表示の数値は無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。



パソコン用無線LANアダプタおよびパソコンに内蔵された無線LAN機能についての詳細は、お使いの無線LANアダプタに付属の取扱説明書などをご確認いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

準備が整ったら早速、無線LANカードを取り付けてみよう! P9へ!



無線LAN機能を内蔵したパソコンの確認方法

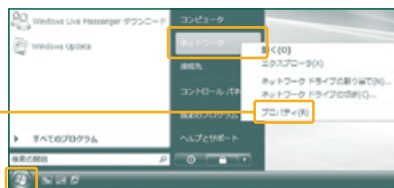
お使いのパソコンに無線LAN機能(無線LANアダプタ)が内蔵されているかどうかは、パソコンの取扱説明書にてご確認ください。
また、次に紹介する方法でもご確認ください。



お使いのパソコンがWindows Vistaの場合

1

■ (スタート) ボタンをクリックして
〔ネットワーク〕→〔プロパティ〕を
クリックします。



2

〔ネットワーク接続の管理〕を
クリックします。



〔ワイヤレスネットワーク接続〕アイコンが1つだけ表示されている場合

お使いのパソコンは、無線LAN機能内蔵です。
「パソコン用無線LANアダプタ」の取り付け、
設定は不要となります。



〔ワイヤレスネットワーク接続〕 アイコンが表示されていない場合

お使いのパソコンには、無線LAN機能は内蔵されていません。P6をご参照のうえ、「パソコン用無線LANアダプタ」をご用意ください。

〔ワイヤレスネットワーク接続〕 アイコンが2つ以上表示されている場合

無線LAN機能内蔵のパソコンに、別途追加で「パソコン用無線LANアダプタ」を取り付けている可能性があります。追加分は不要となりますので、お取り外しください。

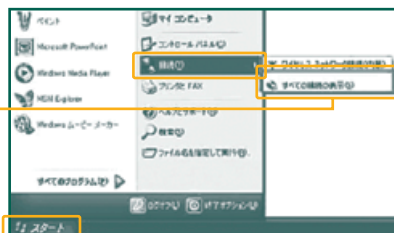
お使いのパソコンがWindows XPの場合

1

〔スタート〕ボタンをクリックして
〔接続〕→〔すべての接続の表示〕を
クリックします。

※スタートメニューの中に〔接続〕が
ない場合は、〔コントロールパネル〕
→〔ネットワークとインターネット接
続〕→〔ネットワーク接続〕をクリック
します。

※スタートメニューの中に〔マイネット
ワーク〕があれば、それを右クリック
して〔プロパティ〕を選択してもか
まいません。



2

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

〔ワイヤレスネットワーク接続〕アイコンが1つだけ表示されている場合

お使いのパソコンは、無線LAN機能内蔵です。
「パソコン用無線LANアダプタ」の取り付け、
設定は不要となります。



〔ワイヤレスネットワーク接続〕 アイコンが表示されていない場合

お使いのパソコンには、無線LAN機能は内
蔵されていません。P6をご参照のうえ、「パ
ソコン用無線LANアダプタ」をご用意くだ
さい。

〔ワイヤレスネットワーク接続〕 アイコンが2つ以上表示されている場合

無線LAN機能内蔵のパソコンに、別途追加
で「パソコン用無線LANアダプタ」を取り付
けている可能性があります。追加分は不要と
なりますので、お取り外しください。

モデムに無線LANカードを取り付ける

無線LANの設定にあたり、まずは無線LANカードを取り付けましょう。
あらかじめ、LANケーブルを使用したインターネット接続ができる状態にしておく必要があります。下記手順をご確認のうえ、準備を始めてください。



1 機器を接続します

- ▼ モデムに同梱の「接続ガイド」をご覧ください。インターネットに必要な設定を完了させてください。

2 機器の電源を切ります

- ▼ 機器(パソコン、モデム、電話機)の電源をすべて切ってください。

3 モデム用無線LANカードを取り付けます

- ▼ モデム用無線LANカードのラベルの向きに注意して、モデム本体のスロット(差込口)に、奥までしっかり差し込んでください。

「モデム用無線LANカードの取り付け方法」(P10)参照

4 モデムの電源を入れます



5 パソコン、電話機の電源を入れます

- ▼ モデムの「無線LAN」ランプと、モデム用無線LANカードのランプが共に点灯してから、パソコン、電話機の電源を入れます。



- ▼ ●モデム用無線LANカードを抜き差しする際は、必ずモデムの電源を切った状態で行ってください。
- ▼ ●ランプが点灯しない場合は、モデム用無線LANカードの向きが間違っていたり、奥まで差し込まれていない可能性があります。右面の「モデム用無線LANカードの取り付け方法」をご参照のうえ、無線LANカードが正しく取り付けられているかご確認ください。



以上の作業が終了したら、モデムのセキュリティ設定を行います(→P11)

モデム用無線LANカードの取り付け方法

ご利用いただくモデムは、お申し込みいただいた時期やサービス内容によって異なります。ご利用のモデムのタイプをご確認のうえ、モデム用無線LANカードの取り付けを行ってください。

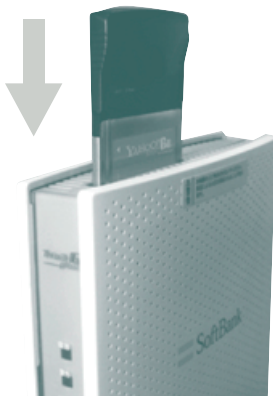


Step 2

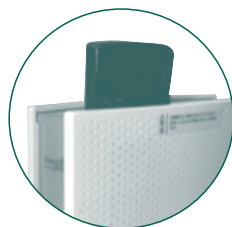
モデムに無線LANカードを取り付ける

P5の
「モデム用無線LAN
カードの外観写真」もあわせて
ご覧ください

- **モデム側の差込口**
モデム本体の上側
- **モデム用無線LANカードの向き**
モデム正面(LEDランプがある側)から見て、バーコードラベル貼付面が左側、黒い部分が上側



モデム正面(LEDランプのある面)



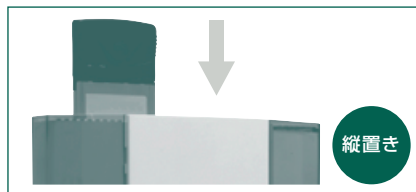
水平な状態で奥まで差し込んでください(一旦抵抗がありますが、最後までしっかり差し込んでください)。

トリオモデム12Mの場合

- **モデム側の差込口**
モデム本体の左側
- **モデム用無線LANカードの向き**
バーコードラベル貼付面が下向き、黒い部分が左側



カバー付きの光BBユニットの場合



縦置き

- **光BBユニット側の差込口**
光BBユニット本体の上方
- **モデム用無線LANカードの向き**
光BBユニット正面(ロゴのある側)から見て、バーコードラベル貼付面が裏側、黒い部分が上側



横置き

- **光BBユニット側の差込口**
光BBユニット正面(ロゴのある側)を手前に置いた場合に光BBユニット本体の左側
- **モデム用無線LANカードの向き**
バーコードラベル貼付面が裏側、黒い部分が左側

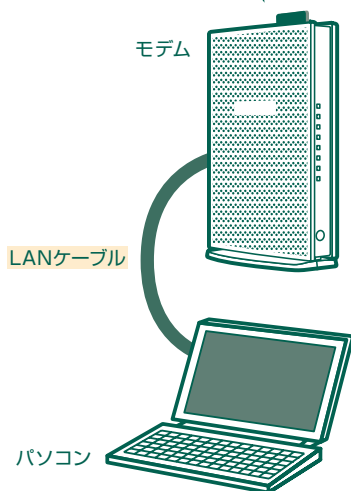
「セットアップメニュー」画面にログインする

モデムに無線LANカードを取り付けたら、モデムのセキュリティ設定を行います。無線LANのセキュリティ設定は、モデムにLANケーブルで接続したパソコン(有線LANの環境)で行います。無線LAN環境では設定できませんので、ご注意ください。



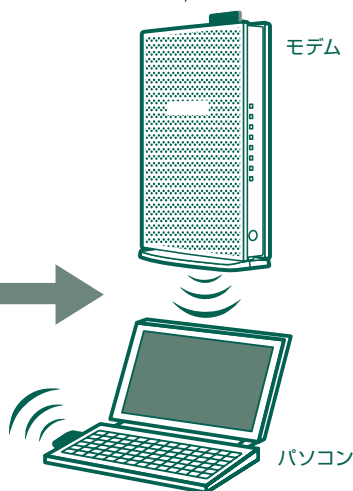
①無線LANの設定を行うとき

モデムにLANケーブルで接続したパソコンから、Internet Explorerを使って無線LANの設定を行います



②無線LANの設定終了後

無線LANで通信ができます



※図はトリオモデムの場合

①の状態を設定を開始しよう！



パソコンとモデムをLANケーブルで接続した後、次の手順で「セットアップメニュー」画面を表示してください。



Step 3

「セットアップメニュー」画面にログインする

1

Internet Explorerを起動します。
Internet Explorerの「アドレス」欄に

http://172.16.255.254/

と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。



「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、「OK」をクリックしてください。

2

無線LANの設定画面を表示させるための「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面が表示されます。

ユーザー名 : **user**
パスワード : **user**

と入力し、「OK」をクリックします。



「user」はすべて半角小文字で入力してください。

お持ちのモデムの種類によって「ユーザー名」と「パスワード」が異なる場合があります。
モデム用無線LANカードに本誌以外の別紙が同梱されているお客様は、そちらのご案内も必ずお読みください。



3

Internet Explorerに「セットアップメニュー」画面が表示されます。

無線LANの各種設定は、この「セットアップメニュー」画面から行います。



お申し込みいただいたサービスなどにより、画面表示が異なる場合もあります。
詳細は次のページをご覧ください。

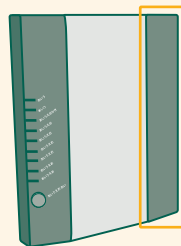
トリオモデム12Mの場合

無線アクセスポイントセットアップ									
セットアップメニュー 簡単設定 詳細設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">簡単設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SSID:</td> <td>BBUser</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> SSID、「f」(半角)ダブルコーテーションのみ使用できません。 アクセスポイント名は、0-9, a-z, A-Z(半角英数)の文字のみ入力可能です。 お好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など、 個人を特定できる文字列は使用しないでください。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">OK</td> </tr> </tbody> </table>	簡単設定		SSID:	BBUser	SSID、「f」(半角)ダブルコーテーションのみ使用できません。 アクセスポイント名は、0-9, a-z, A-Z(半角英数)の文字のみ入力可能です。 お好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など、 個人を特定できる文字列は使用しないでください。		OK	
簡単設定									
SSID:	BBUser								
SSID、「f」(半角)ダブルコーテーションのみ使用できません。 アクセスポイント名は、0-9, a-z, A-Z(半角英数)の文字のみ入力可能です。 お好きな文字列を設定することが可能ですが、個人名や電話番号など、 個人を特定できる文字列は使用しないでください。									
OK									

光BBユニット<タイプA>の場合

セットアップメニュー	
設定モード選択	
簡単設定モード	無線LANのSSID、WEP機能のみを設定します。
詳細設定モード	全ての機能を設定します(上級者向け)。

光BBユニットには<タイプA>および<タイプB>の2種類があり、<タイプA>の場合のみ設定手順や画面表示が異なります。お客様のご利用のサービスや環境に適したタイプのもをお送りしていますので、ご了承ください。



この部分がカバー
になっています

光BBユニット<タイプA>



無線LANの各種設定は、この「セットアップメニュー」画面から行うよ。
ログインできたらSSIDとWEPキーを設定しよう！



SSIDとWEPキーを設定する

無線LANを安全にご利用いただくために、セキュリティ設定が必要となります。ここでは、「簡単設定モード」を使って、SSIDとWEPキーを設定します。

トリオモデム26M／トリオモデム3-G／トリオモデム3-G plus／BBモデム4-G／光BBユニットの場合

トリオモデム12Mをご利用の方は、セキュリティ設定手順が他のモデムと若干異なりますので、P18をご覧ください。



1

P12をご参照のうえ、Internet Explorerに「セットアップメニュー」画面を表示させたのち、「簡単設定モード」をクリックします。



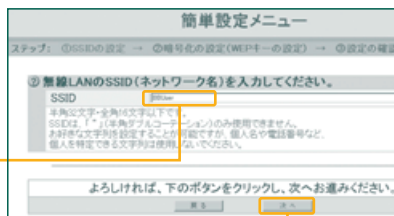
2

表示された「SSID」欄を確認します。SSIDの初期値は「BBUser」に設定されています（BBU:大文字、ser:小文字）。

SSID欄の初期値「BBUser」を消して、新たに任意の文字を入力してください。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いします。

「次へ」をクリックします。



お持ちのモデムによって、初期値が異なる場合があります。モデム用無線LANカードに本誌以外の別紙が同梱されているお客様は、そちらのご案内も必ずお読みください。



必ず下記の点にご注意のうえ、設定をお願いいたします。

- お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
- 最大32文字までの半角英数字で設定してください。

ヒント



SSIDとは・・・

無線LAN機器からの電波を区別するための識別ID(ネットワーク名)です。最初は「BBUser」などに設定されていますが、お客様固有のSSID値を設定することにより、ご自分の無線LAN電波と他のお客様の電波の区別をつけることができます。

Step 3

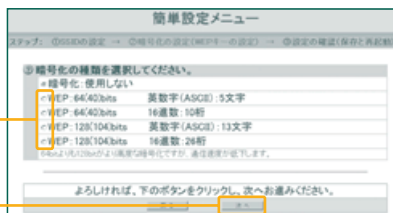
「セットアップメニュー」画面とログイン画面／SSIDとWEPキーを設定する

3

次に、WEPキーを設定します。
〔暗号化の種類を選択してください〕から
暗号化の種類を選択します。

※選択の際は、P16の「WEPキーの設定方法」
をご参照ください。

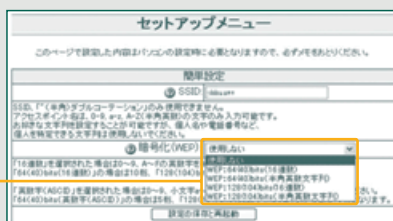
〔次へ〕をクリックします。



〔光BBユニット<タイプA>の場合〕

〔暗号化(WEP)〕欄をクリックして、暗号化
の種類を選択します。

※選択の際は、P16の「WEPキーの設定方法」
をご参照ください。



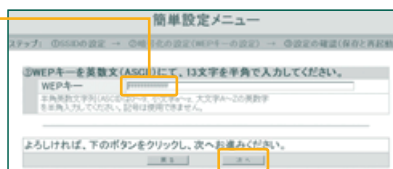
4

〔WEPキー〕欄に、③で選択した暗号化(WEP)
に対応したWEPキーを設定します。
初期値が設定されている場合は値を消して、
新たに任意の文字を入力してください。

※設定の際は、P16の「WEPキーの設定例」を
ご参照ください。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子
巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願い
いたします。

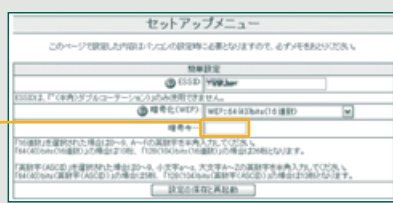
〔次へ〕をクリックします。



〔光BBユニット<タイプA>の場合〕

〔暗号キー〕欄に、手順③で選択した暗号化
(WEP) に対応した暗号キーを設定します。

※設定の際は、P16の「WEPキーの設定例」を
ご参照ください。



ヒント



WEPキーとは・・・

無線LANで通信する内容は、電波の性質上、電波を受信できる場所に第三者から通信内容を盗み見られてしまう可能性があります。WEPキーを設定することで通信内容が暗号化され、盗み見される可能性を低くすることができます。

・・・・・・・・・・・・ WEPキーの設定方法 ・・・・・・・・・・・・

「16進数」と「英数字」からご選択いただけます。機能的な違いはありませんので、お好みによりご選択ください。26桁が13桁(128bits)の暗号キーの場合、よりセキュリティ性が高くなりますが、通信速度が低下します。

※全て半角で設定をお願いいたします。

・・・・・・・・・・・・ WEPキーの設定例 ・・・・・・・・・・・・

■「WEP:64(40)bits(半角英数文字列)」を選択された場合

「0」～「9」までの数字と、「a」～「z」、「A」～「Z」の半角大小文字を組み合わせる5桁の英数字を設定してください。

例) 01abA, 12345, abcde, ABCDE など

■「WEP:64(40)bits(16進数)」を選択された場合

「0」～「9」までの数字と、「A」～「F」までの半角大文字を組み合わせる10桁の英数字を設定してください。

例) 0123ABCDEF, 0123456789, ABCDEF0123 など

■「WEP:128(104)bits(半角英数文字列)」を選択された場合

「0」～「9」までの数字と、「a」～「z」、「A」～「Z」の半角大小文字を組み合わせる13桁の英数字を設定してください。

例) 01234abcdABCD, 0123456789012, abcdefghijklm など

■「WEP:128(104)bits(16進数)」を選択された場合

「0」～「9」までの数字と、「A」～「F」までの半角大文字を組み合わせる26桁の英数字を設定してください。

例) 0123456789ABCDEF0123456789 など



必ず下記の点にご注意のうえ、設定をお願いいたします。

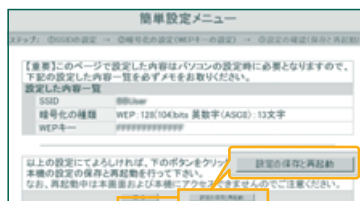
- お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
- 「パソコン用無線LANアダプタ」(P6参照)をご利用の際は、パソコン側でも(無線LANアダプタのユーティリティに対して)同じWEPキーの設定が必要です。設定方法の詳細については、お使いの無線LANアダプタ付属の取扱説明書などをご覧ください。各メーカーへお問い合わせください。

5

③④で設定した内容が表示されます。

忘れずにメモしておこう！

- ・SSID
- ・暗号化の種類
- ・WEPキー



設定内容に間違いがなければ(設定の保存と再起動)をクリックします。

6

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。

ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



以上でモデムのセキュリティ設定は完了です！



モデムのセキュリティ設定が終わったら、パソコン側の設定も忘れずに！

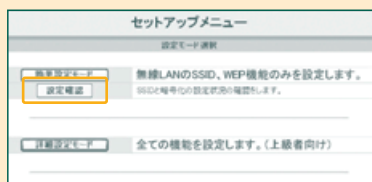
P22ページに載ってるよ。



ヒント

設定内容の確認

設定した内容は、P12に記載のセットアップメニューで[設定確認]をクリックすると表示されます。
※光BBユニット(タイプA)を除く



ヒント



WEPキーとは・・・

無線LANで通信する内容は、電波の性質上、電波を受信できる場所に第三者から通信内容を盗み見られてしまう可能性があります。WEPキーを設定することで通信内容が暗号化され、盗み見される可能性を低くすることができます。

・・・・・・・・ WEPキーの設定方法 ・・・・・・・・

いくつかの設定方法がありますが機能的な違いはありません。WEPキーの長さが64bitsよりも128bitsのほうがセキュリティが高くなりますが、通信速度が低下します。

※全て半角で設定をお願いいたします。

3

設定内容を保存するための確認画面が表示されますので、[OK]をクリックします。設定がモデムに登録されます。

4

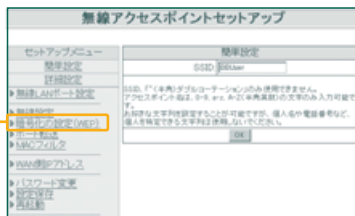
次に、[詳細設定]をクリックします。



5

「詳細設定」メニューが表示されます。

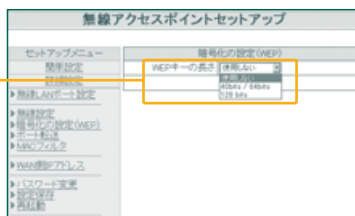
[暗号化の設定(WEP)]をクリックします。



6

「暗号化の設定(WEP)」画面が表示されます。

[WEPキーの長さ]欄から「40bits/64bits」または「128bits」を選択します。



..... WEPキーの設定方法

- ⑦の〔キーの形式〕で「英数字(ASCII)」を使用」を選択された場合
 「0」～「9」までの数字と、「a」～「z」、「A」～「Z」の半角大小文字の組み合わせが可能です。
 ⑥の〔WEPキーの長さ〕で「40bits/64bits」を選択 : 5桁
 ⑥の〔WEPキーの長さ〕で「128bits」を選択 : 13桁

- ⑦の〔キーの形式〕で「16進数を使用」を選択された場合
 「0」～「9」までの数字と、「A」～「F」までの半角大文字の組み合わせが可能です。
 ⑥の〔WEPキーの長さ〕で「40bits/64bits」を選択 : 10桁
 ⑥の〔WEPキーの長さ〕で「128bits」を選択 : 26桁

7

〔キーの形式〕欄をクリックして、「英数字(ASCII)」を使用」または「16進数を使用」を選択します。

次に、〔使用する暗号キー〕欄からキーを選択します。
 通常は〔キー1〕を選択してください。

8

⑦で選択したキーの番号に対応する入力欄に、WEPキーを設定します。

初期値が設定されている場合は値を消して、新たに任意の文字を入力してください。

※〔キー1〕を選択された場合はキー1の入力欄を使用します。

※ここには⑥で選択した〔WEPキーの長さ〕が表示されます。

入力後、画面の下の〔OK〕をクリックします。

忘れずにメモしておこう！

- ・ WEPキーの長さ
- ・ キーの形式
- ・ 設定したWEPキー



9

左側に表示されたメニューから〔設定保存〕をクリックし、右側の画面の〔保存〕をクリックします。

設定が保存されます。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	設定保存
簡単設定	現在の設定を保存します。
詳細設定	
無線LANポート設定	設定の保存には約30秒ほどかかりますので、そのままだけでお待ちください。
無線設定	保存中に本製品の電源を落とすと故障の原因になります。
暗号化の設定(WEP)	[保存]
ポート設定	
MACアドレス	
WAN接続アドレス	
パスワード変更	
設定保存	
再起動	

10

左側に表示されたメニューから〔再起動〕をクリックし、右側の画面の〔再起動〕をクリックします。

これまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	無線アクセスポイントの再起動
簡単設定	設定された内容を有効にするには再起動が必要です。
詳細設定	本機器の再起動には約30秒ほどかかりますので、しばらくお待ちください。
無線LANポート設定	[再起動]
無線設定	
暗号化の設定(WEP)	
ポート設定	
MACアドレス	
WAN接続アドレス	
パスワード変更	
設定保存	
再起動	

以上でモデムのセキュリティ設定は完了です！



モデムのセキュリティ設定が終わったら、パソコン側の設定も忘れずに！



P22ページに載ってるよ。

WEPキーを設定して通信内容を暗号化すると、「データを暗号化する処理」と「暗号化したデータを復元する処理」が加わりますので、暗号化しない状態に比べて通信速度が多少遅くなる場合があります。



パソコンのセキュリティ設定を行う

モデムのセキュリティ設定が完了したら、次はパソコン側の設定を行います。お使いのパソコンや、ご用意いただいたパソコン用無線LANアダプタの種類によって設定が異なりますので、下記をご確認のうえ、設定を行ってください。



お使いのパソコンが無線LAN機能を内蔵している場合

パソコンの取扱説明書などをご参照いただき、設定してください。



Windows XP / Windows Vista / Windows 7をご利用の場合は次のページで設定方法をご紹介します。

パソコン用無線LANアダプタをご利用いただく場合

- 1 パソコンに、パソコン用無線LANアダプタのドライバをインストールします。



ドライバのインストール方法やパソコンへの取り付け方につきましては、無線LANアダプタに付属の取扱説明書をご覧ください。

2

パソコンに、無線LANアダプタを取り付けます。※下記イラストは一例です。



3

モデムに設定したSSID・WEPキー(P14/P18)と同じものを、無線LANアダプタにも設定します。



SSID・WEPキーの設定方法は無線LANアダプタごとに異なります。詳細につきましては無線LANアダプタに付属の取扱説明書をご確認いただくか、各メーカーへお問い合わせください。



無線LANの
設定完了!

より高度な暗号化
(WPA-PSK)を利用したり、
利用者の制限などの高度なセキュリティ設定を
行う場合は、「無線LANの詳細設定」
(P29～)をご覧ください。



Step 3

Step 4

パソコンのセキュリティ設定を行う
SSID・WEPキーを設定する

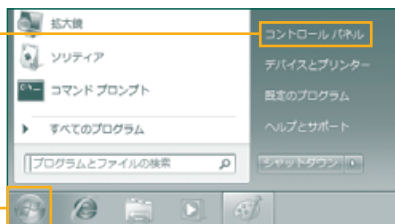
無線LAN機能を内蔵したWindows 7 の場合

ここでは、無線LAN機能を内蔵したWindows 7 でのセキュリティ設定手順をご説明します。設定がうまくいかない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書や、メーカーのサポートページなどをご参照ください。



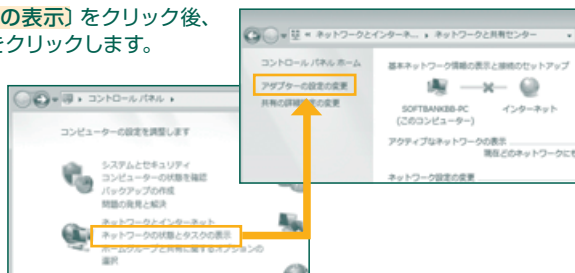
1

画面左下の  (スタートボタン) をクリック後、[コントロールパネル] を選択します。



2

[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリック後、[アダプターの設定の変更] をクリックします。



3

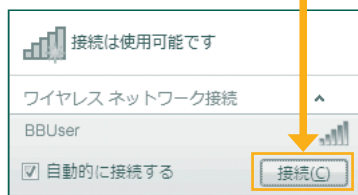
[ワイヤレスネットワーク接続] をダブルクリックします。



P14/P18で設定した「SSID」名が表示されます。SSIDを選択後、[接続] をクリックします。



「SSID」名は複数表示される場合があります。P14/P18で設定した「SSID」名をご確認のうえ、ご選択ください。



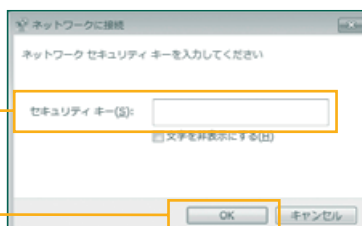
権利者権限を持つユーザアカウント以外では下記を設定いただけない場合があります。必ず権利者権限を持つユーザアカウントで設定を行ってください。



4

P15/P19で設定したWEPキーを、
〔セキュリティキー〕欄に入力します。

入力後、〔OK〕をクリックします。



5

〔パブリックネットワーク〕に、P14/P18で設定したSSID名が表示されていることを確認します。



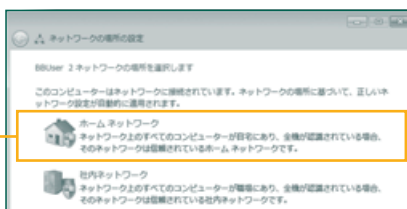
UPnP機能等を利用される場合は〔パブリックネットワーク〕をクリックします。
それ以外のお客様はウィンドウ右上の〔×〕をクリックして終了します。

※UPnPは、パソコンや周辺機器をネットワークへ簡単に接続するための規格のことです。UPnPを利用することで、ルーターに接続したパソコンからでも、特別な設定なしにインスタントメッセージやネットワーク対応ゲームを利用することができます。

6

UPnP機能等を設定される場合

「ネットワークの場所の設定」が表示されたら、〔ホームネットワーク〕を選択し、UPnP機能等に必要の設定を行ってください。



以上でWindows 7 での パソコンのセキュリティ設定は完了です！

無線LAN機能を内蔵したWindows Vistaの場合

ここでは、無線LAN機能を内蔵したWindows Vistaでのセキュリティ設定手順をご説明します。設定がうまくいかない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書や、メーカーのサポートページなどをご参照ください。

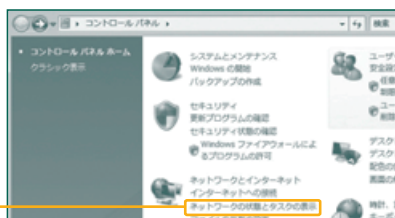


1

画面左下の〔スタート〕ボタンをクリックし、〔コントロールパネル〕を選択します。

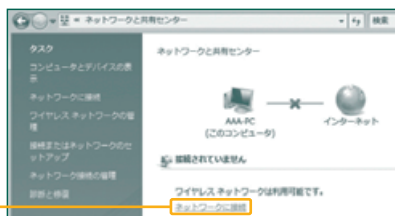
2

〔ネットワークの状態とタスクの表示〕をクリックします。



3

〔ネットワークに接続〕をクリックします。



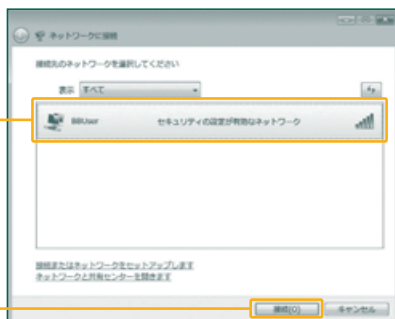
4

P14/P18で設定した〔接続先のネットワーク名(SSID)〕が表示されます。

利用したい〔接続先のネットワーク(SSID)〕を選択し〔接続〕をクリックします。



〔接続先のネットワーク名(SSID)〕は複数表示される場合があります。モデムで設定した〔接続先のネットワーク名(SSID)〕をご確認のうえ、選択してください。



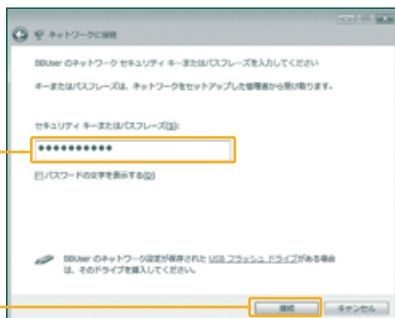
5

P15/P19で設定した「WEPキー」を〔セキュリティキーまたはパスフレーズ〕へ入力します。

入力後、〔接続〕をクリックします。

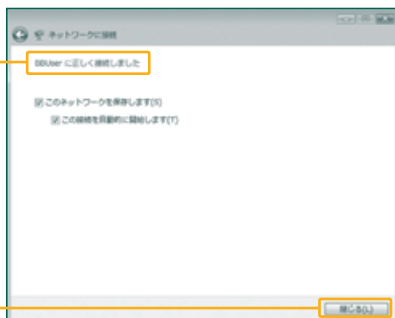


モデム側でWEP(またはWPA-PSK)を未設定の場合、この画面は表示されません。



6

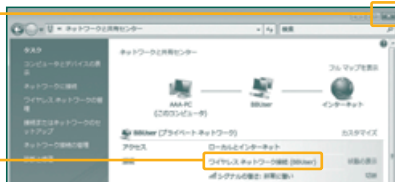
4で選択した〔接続先のネットワーク名 (SSID)〕が表示されていることを確認し、〔閉じる〕をクリックします。



7

接続状況が表示されます。

〔ワイヤレスネットワーク接続〕に〔接続先のネットワーク名 (SSID)〕が表示されていることを確認してください。確認後、ウィンドウ右上の〔×〕ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。



以上でWindows Vistaでの
パソコンのセキュリティ設定は完了です！



無線LAN機能を内蔵したWindows XP(SP3)の場合

ここでは、無線LAN機能を内蔵したWindows XP(SP3)でのセキュリティ設定手順をご説明します。設定がうまくいかない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書や、メーカーのサポートページなどをご参照ください。

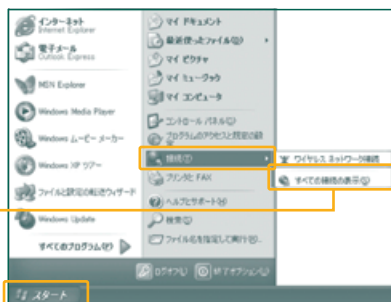


1

〔スタート〕ボタンをクリックし、〔接続〕→〔すべての接続の表示〕をクリックします。

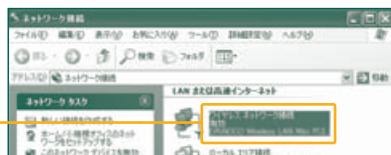
※スタートメニューの中に〔接続〕がない場合は、〔コントロールパネル〕→〔ネットワークとインターネット接続〕→〔ネットワーク接続〕をクリックします。

※スタートメニューの中に〔マイネットワーク〕があれば、それを右クリックして〔プロパティ〕を選択してもかまいません。



2

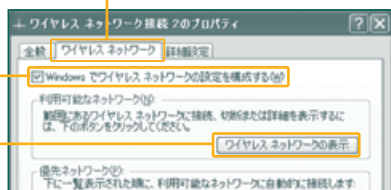
「ネットワーク接続」画面が表示されます。〔ワイヤレス ネットワーク接続〕を選択し、右クリックで表示されるメニューから〔プロパティ〕をクリックします。



3

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面で、〔ワイヤレス ネットワーク〕タブを選択します。

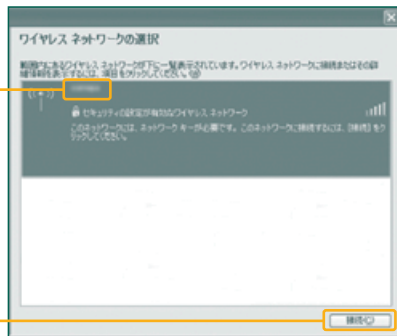
〔Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する〕をチェックします。
〔利用可能なネットワーク〕の欄の〔ワイヤレスネットワークの表示〕をクリックします。



4

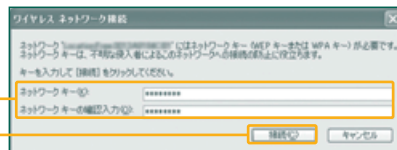
「ワイヤレスネットワークの選択」画面が表示されます。

P14/P18で設定したSSIDが表示されていることを確認します。
SSIDを選択して、〔接続〕をクリックします。

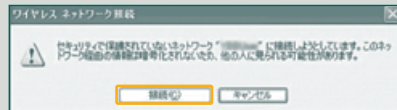


5

ネットワークキーの入力を求める画面が表示されます。
P15/P19で設定したWEPキー（または暗号キー）を入力し〔接続〕をクリックします。



モデム側でWEPキーを未設定の場合、セキュリティで保護されていないことを警告するメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、接続する場合は〔接続〕をクリックします。



※いったん接続した後は、上記画面は表示されません。

6

選択したSSIDの右上に「接続」と表示されていることを確認してください。



以上でWindows XPでの
パソコンのセキュリティ設定は完了です！



無線LANの詳細設定 目次

Step1～4の作業で、無線LAN接続に必要な設定は全て完了しました。これから先にご紹介する項目は、無線LANネットワークに接続できるパソコンの制限やパスワードの変更など、より高度なセキュリティについて説明します。必要に応じて、各種設定を行ってください。なお、設定いただく際は、モデムにLANケーブルを接続したパソコンで行います (P11参照)。



トリオモデム12Mをご使用のお客様は、右ページをご覧ください。
それ以外のモデムをご使用のお客様は、下記の該当項目をご覧ください。

▶ SSIDを変更する P.31

▶ 無線チャンネルを変更する P.33

▶ 無線LAN通信規格の設定を変更する P.35

▶ 無線LAN端末どうしの通信を制限する P.37

▶ 使用者を制限する (MACアドレスフィルタリングの設定) P.39

▶ 無線LANを暗号化する (WEPキーを利用する場合) P.43

▶ 無線LANを暗号化する (WPA-PSKを利用する場合) P.47

※トリオモデム3-G plus / BBモデム4-G / 光BBユニットをご利用のお客様が対象です。

▶ SSIDの隠蔽を設定する P.50

▶ 割当IPアドレスを設定する P.51

▶ 有線LANと無線LANの通信を制限する P.53

▶ ポート転送 (静的IPマスカレード) を設定する P.55

▶ UPnP機能を設定する P.57

▶ パスワードを変更する P.59

Trioモデム12Mの詳細設定 目次

Trioモデム 12Mは、設定手順や利用可能な機能が、その他のモデムと若干異なります。一部対応していない機能もありますので、あらかじめご了承ください。



▶ SSIDを変更する P.18

▶ 無線チャンネルを変更する P.61

▶ 無線LAN端末どうしの通信を制限する P.63

▶ 使用者を制限する(MACアドレスフィルタリングの設定) P.65

▶ 無線LANを暗号化する(WEPキーを利用する場合)..... P.18

▶ SSIDの隠蔽を設定する P.64

▶ 割当IPアドレスを設定する P.67

▶ ポート転送(静的IPマスカレード)を設定する P.69

▶ パスワードを変更する P.70

SSIDを変更する

SSIDを初期値のままご使用になると、ご自分の電波と他のお客様の電波の区別がつかない場合があります。

お客様固有のSSIDを設定することで、無線LANを安全にご利用いただくことが可能です。

※P14で、すでにSSIDの設定を行っている場合は、改めて設定を変更する必要はありません。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。



【光BBユニット<タイプA>の場合】

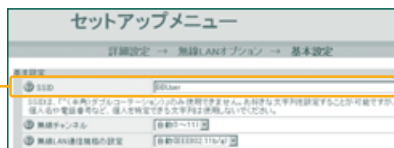
「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。



2

表示された〔SSID〕欄を確認します。SSIDの初期値は「BBUser」に設定されています(BBU:大文字,ser:小文字)。

SSID欄の初期値「BBUser」を消して、新たに任意の文字を入力してください。



お持ちのモデムの種類によって、初期値が異なる場合があります。モデム用無線LANカードに本誌以外の別紙が同梱されているお客様は、そちらのご案内も必ずお読みください。



忘れずにメモしておこう！

・ SSID

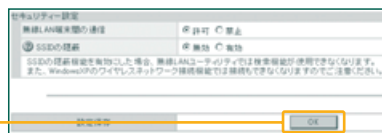


必ず下記の点にご注意のうえ、設定をお願いいたします。

- お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。
- 最大32文字までの半角英数字で設定してください。

3

画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

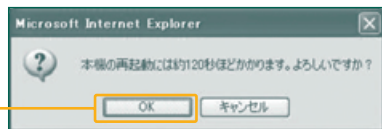


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でSSIDの変更は完了です！

無線チャンネルを変更する

無線LANの電波出力チャンネルを設定できます。初期値(自動)のままでも自動的に効率の良いチャンネルを選択しますが、ノイズの影響などで通信が不安定な場合は、チャンネルを固定することで通信を安定させることができます。

通常のご利用においては、特に変更する必要はありません。

※パソコン用無線LANアダプタ側での設定は不要です。



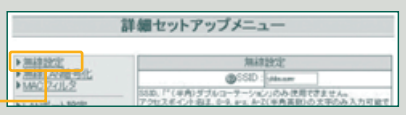
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。



〔光BBユニット<タイプA>の場合〕

〔詳細設定モード〕をクリックし、左側に表示されたメニューから**〔無線設定〕**をクリックします。

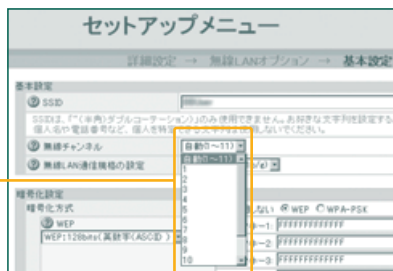


2

表示された**〔基本設定〕**画面の**〔無線チャンネル〕**欄をクリックして、チャンネルを選択します。



特に問題がない限り、初期値のまま
ご利用ください。

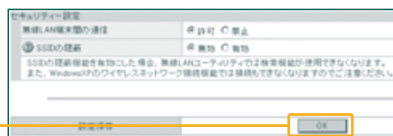


「12」～「14」を選択した場合、お使いのパソコン側の無線LANアダプタによっては、通信できない場合があります。「1」～「11」の数字を選択されることを推奨します。

※お使いのパソコンで「12」～「14」の数字が利用可能かどうかは、無線LANアダプタメーカーにお問い合わせください。

3

画面下の**〔OK〕**(または**〔保存〕**)をクリックします。



4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

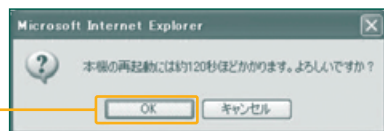


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線チャンネルの変更は完了です！



無線LAN通信規格の設定を変更する

無線LANの通信規格にはIEEE802.11bとIEEE802.11gがあります。

両方の規格を混在させて使用することもできますが、
いずれかに固定させたい場合は下記手順にて設定してください。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。



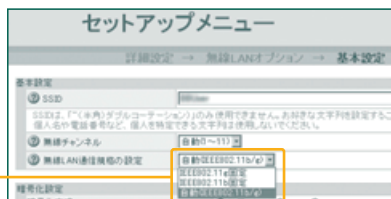
【光BBユニット<タイプA>の場合】

「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。



2

表示された「基本設定」画面の(無線LAN通信規格の設定)欄から、どれか1つを選択します。



check

「自動 (IEEE802.11b/g)」を選択

パソコン側の無線LANアダプタの通信規格が、IEEE802.11b準拠 / IEEE802.11g準拠の、どちらの場合でも通信が可能です。通常はこのままでご利用いただけます。

「IEEE802.11g固定」を選択

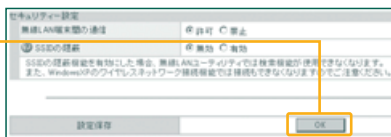
パソコン側の無線LANアダプタがIEEE802.11g準拠のみ通信が可能です。IEEE802.11bでの通信を制限しますので、IEEE802.11b/g混在時のスループット(実効速度)の低下を軽減できます。

「IEEE802.11b固定」を選択

パソコン側の無線LANアダプタがIEEE802.11b準拠 / IEEE802.11g準拠のどちらの場合でも通信が可能です。この場合はIEEE802.11bでの通信となります。

3

画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



4

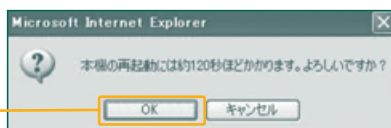
「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線LAN通信規格の設定の変更は完了です！

無線LAN端末どうしの通信を制限する

モデムと複数台のパソコンを無線LANで接続する場合、
パソコン間の通信を禁止できます。
初期値は「許可」に設定されています。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。



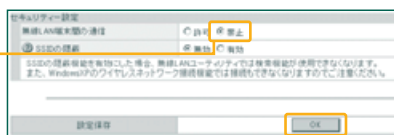
【光BBユニット<タイプA>の場合】

〔詳細設定モード〕をクリックし、左側に表示されたメニューから**〔無線設定〕**をクリックします。



2

表示された**「基本設定」**画面の**〔無線LAN端末間の通信〕**欄で**〔禁止〕**をクリックします。



画面下の**〔OK〕**(または**〔保存〕**)をクリックします。

3

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている**〔再起動〕**をクリックします。

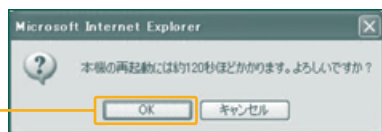


引き続き、「**詳細設定モード**」のその他の設定を行う場合は、ここで**〔再起動〕**をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



4

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、**(OK)**をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で無線LAN端末ごとの通信の制限は完了です！



使用者を制限する(MACアドレスフィルタリングの設定)

モデムにパソコン側で使用される無線LANアダプタのMACアドレスを登録し、登録されていない無線LANアダプタからはネットワークに接続できないように設定します。最大8台の登録が可能です。

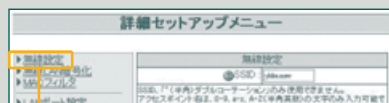


1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。

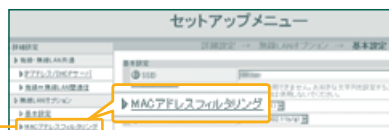


【光BBユニット<タイプA>の場合】
「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。



2

左側に表示されたメニューから「MACアドレスフィルタリング」(または「MACフィルタ」)をクリックします。

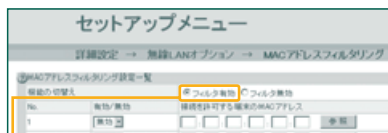


光BBユニット<タイプA>をご利用の方はこのあとの手順が異なります。P42の「光BBユニット<タイプA>の場合」へ進んでください。
その他のモデムをご利用の方は、そのまま③へ進んでください。

3

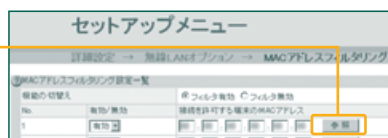
「MACアドレスフィルタリング設定」画面が表示されます。

「MACアドレスフィルタリング設定一覧」の「機能の切替え」で「フィルタ有効」をクリックします。



4

「接続を許可する端末のMACアドレス」欄の「参照」をクリックします。



check

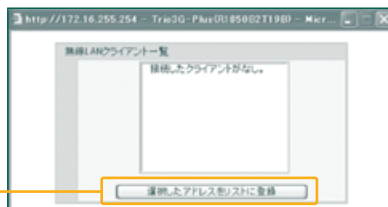
MACアドレスを直接入力する場合

パソコンに無線LANアダプタが差し込まれていない場合や、複数の無線LANアダプタを設定する場合には、直接MACアドレスを入力する必要があります。その際には、「接続を許可する端末のMACアドレス」欄に、ご利用の無線LANアダプタのMACアドレスを入力してください。その後、手順⑥へ進みます。

5

「無線LANクライアント一覧」画面が表示されます。

表示されたクライアントから接続を制限したい無線LANアダプタをクリックして、「選択したアドレスをリストに登録」をクリックします。



6

登録したMACアドレスが「接続を許可する端末のMACアドレス」の一覧に追加されます。

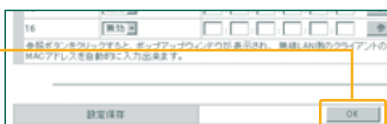
7

登録したMACアドレスの〔有効／無効〕の〔▼〕をクリックして〔有効〕を選択します。



8

MACアドレスをすべて設定したら、〔OK〕をクリックします。



9

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

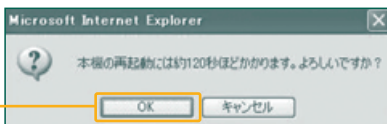


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



10

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままでお待ちください。



11

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で使用者の制限の設定は完了です！

光BBユニット<タイプA>の場合

P39の手順②に引きつづき、設定を行ってください。

3

「MACフィルタリング設定」で[有効]をクリックし、ご利用の無線LANアダプタのMACアドレスを「MACアドレス」欄に入力します。



無線LANアダプタ、無線LAN内蔵パソコンなどの無線LAN通信機器のMACアドレスの確認方法については、製品に付属の説明書を参照してください。

4

「無線接続制限」の[許可]をクリックし、[追加]をクリックします。

追加したMACアドレスは、「ステーションリスト」欄に表示されます。



複数のパソコンで無線LANを利用するときは手順③～④をくり返して、無線LANアダプタのMACアドレスを登録します。

5

MACアドレスをすべて設定したら、[保存] (または[OK]) をクリックします。
このあとは、P41の手順⑨からをご参照ください。

ヒント



【MACアドレスによる使用制限の解除】

「MACフィルタリング設定」画面で「無効」を選択してください。

【登録したMACアドレスの修正／削除】

ステーションリストから修正／削除するMACアドレスを選択した後、MACアドレスを修正し、[修正] をクリックします。削除する場合は[削除] をクリックします。

無線LANを暗号化する(WEPキーを利用する場合)

無線LANで送受信するデータの暗号化に必要な設定となります。

※P14で、すでにWEPキーの設定を行っている場合は、改めて設定を変更する必要はありません。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。



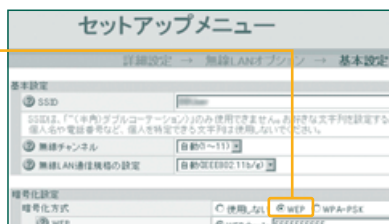
【光BBユニット<タイプA>の場合】

「詳細設定モード」をクリックし、左側に表示されたメニューから「無線LAN暗号化」をクリックします。



2

「暗号化設定」欄の「暗号化方式」(または「暗号化」)欄で「WEP」を選択します。



3

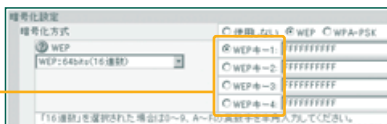
「WEP」(または「暗号強度」)欄の「▼」をクリックして、暗号化の種類を選択します。



64bitsよりも128bitsがより高度な暗号化となりますが、通信速度が低下します。また16進数と半角英数字は特に機能的な違いはありませんのでご利用しやすい方を選択してください。

4

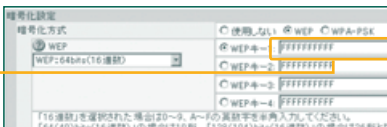
〔WEPキー1〕～〔WEPキー4〕(または〔使用する暗号キー〕)からキーを選択します。
通常は、〔WEPキー1〕(または〔キー1〕)のまま使用してください。



5

〔WEPキー〕の入力欄に、④で選択した暗号化の種類に対応したWEPキーを、全て半角で設定します。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いします。



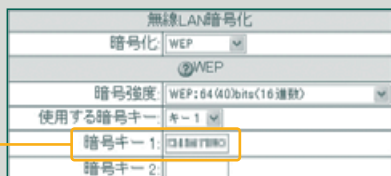
お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。

WEPキーの設定方法は
P16をご参照ください。

忘れずにメモしておこう！

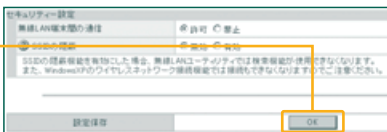
- ・ 暗号化の種類
- ・ 設定したWEPキー

【光BBユニット<タイプA>の場合】
「暗号キー」を同様に設定します。



6

画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



7

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている**〔再起動〕**をクリックします。



check

引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで**〔再起動〕**をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



8

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、**〔OK〕**をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



9

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWEPキーを利用した暗号化の設定は完了です！



無線LANを暗号化する(WPA-PSKを利用する場合)

※トリオモデム3-G plus／BBモデム4-G／光BBユニットをご利用のお客様が対象です。

WPA-PSKを利用した暗号化の設定を行うためには、パソコン側の無線LANアダプタも「WPA-PSK:TKIP」または「WPA-PSK:AES」に対応している必要があります。お使いの無線LANアダプタが対応しているかどうかは、無線LANアダプタに付属の説明書をご確認いただくか、各メーカーにお問い合わせください。



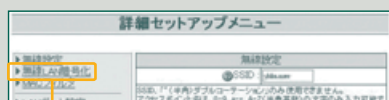
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。



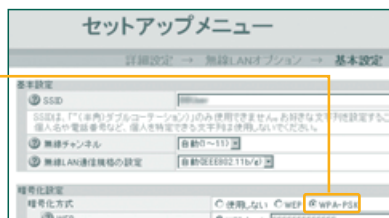
【光BBユニット<タイプA>の場合】

〔詳細設定モード〕をクリックし、左側に表示されたメニューから**「無線LAN暗号化」**をクリックします。



2

〔暗号化設定〕欄の**〔暗号化方式〕**(または**〔暗号化〕**欄)で**WPA-PSK**を選択します。

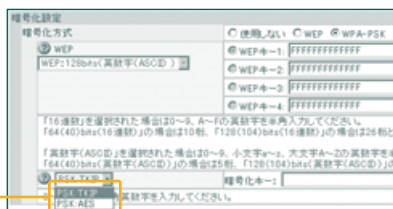


3

〔WPAモード〕(または〔事前共有キー〕)欄をクリックして、〔PSK:TKIP〕もしくは〔PSK:AES〕を選択します。



ご利用のパソコン側の無線LANアダプタで設定可能なものを選択してください。



ヒント



TKIPとは

「Temporal Key Integrity Protocol」の略で、WEPを拡張した技術です。一定量のデータを転送することに暗号化キーを更新し、従来のWEPより安全な通信が可能です。

AESとは

「Advanced Encryption Standard」の略で、WEPに代わる暗号化技術です。WEPはもちろん、TKIPよりもさらに強固な暗号化方式です。

4

〔暗号化キー〕(または〔事前共有キー〕)欄に暗号キーを設定します。
暗号キーには、8～63文字の半角英数字を入力してください。

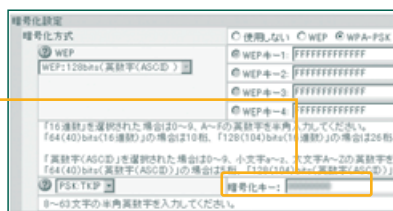
入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。



お客様のお名前、ご住所、生年月日、年齢、性別、電話番号など、個人を特定できる情報は、絶対に設定しないでください。

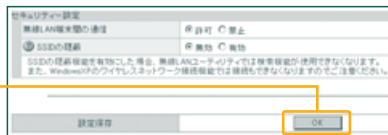
忘れずにメモしておこう！

- ・ PSK:
- ・ 設定した暗号化キー



5

画面下の〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



6

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

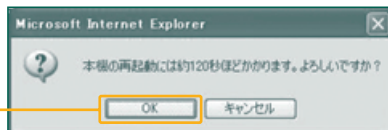


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



7

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



8

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でWPA-PSKを利用した暗号化の設定は完了です！



SSIDの隠蔽を設定する

SSIDを周囲に発信する機能を止め、パソコン側の検索機能などで無線LANのアクセスポイントを検出できないようにします。
初期値は「無効」に設定されています。



SSIDの隠蔽を「有効」にすると、パソコン側の設定変更が必要になる場合があります。ご利用の無線LANアダプタやパソコンに付属の説明書などでご確認ください。

1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、「詳細設定モード」または「詳細設定」をクリックします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】

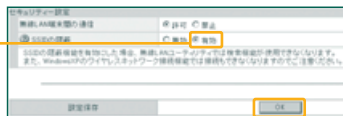
さらに、左側に表示されたメニューから「無線設定」をクリックします。



2

「SSIDの隠蔽」(または「SSIDステルス」)欄で、「有効」をクリックします。

画面下の「OK」(または「保存」)をクリックします。



3

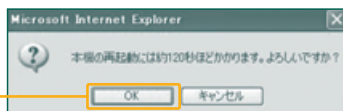
「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている「再起動」をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで「再起動」をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

4

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、「OK」をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



5

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でSSIDの隠蔽の設定は完了です！

割当IPアドレスを設定する

ネットワークの設定によっては、使用するIPアドレスを指定する必要があります。

初期設定されているIPアドレスを変更したい場合は
こちらの手順で設定を行ってください。

※この設定では、グローバルIPアドレスを固定することはできません。



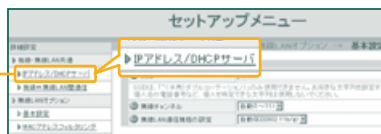
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、
「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。



2

左側に表示されたメニューから「IPアドレス
/DHCPサーバ」または「LANポート設定」をク
リックします。



3

「本機IPアドレス/サブネットマスク」(または
「LANポート設定」)欄に、次のように表示され
ていることを確認します。



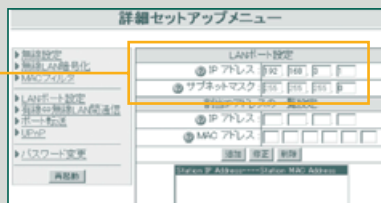
【IPアドレス】: 192.168.3.1

【サブネットマスク】: 255.255.255.0

通常はこの設定(初期値)のままで利用できます。

【光BBユニット<タイプA>の場合】

同様に表示されます。



4

〔固定割当〕(または〔該当IPアドレスの一覧設定〕)欄に、各パソコン(無線LANアダプタ)に割り当てるIPアドレスとLANアダプタのMACアドレスを設定します。

〔割当IPアドレス〕:
パソコン(無線LANアダプタ)に割り当てたいIPアドレス

〔MACアドレス〕:
無線LANアダプタのMACアドレス

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

該当IPアドレスを全て設定したら〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



忘れずにメモしておこう!

・IPアドレス



【光BBユニット<タイプA>の場合】

同様にIPアドレスとMACアドレスを設定後、〔追加〕をクリックします。

該当IPアドレスを全て設定したら〔保存〕をクリックします。



複数のパソコンを設定する場合は手順④をくり返して、割当IPアドレスを登録します。

5

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。

6

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。

7

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で割当IPアドレスの設定は完了です!

有線LANと無線LANの通信を制限する

モデムに複数台のパソコンを有線LAN／無線LANそれぞれで接続している場合、パソコン間の通信を禁止することができます。
初期値は「許可」に設定されています。



1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、〔詳細設定モード〕(または〔詳細設定〕)をクリックします。



2

左側に表示されたメニューから〔有線⇄無線LAN間通信〕をクリックします。

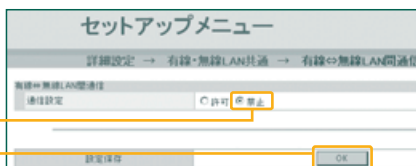


3

「有線⇄無線LAN間通信」画面が表示されます。

〔有線⇄無線LAN間通信〕欄で〔禁止〕をクリックします。

〔OK〕(または〔保存〕)をクリックします。



4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

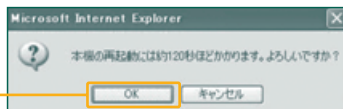


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上で有線LANと無線LANの通信を制限する設定は完了です！



ポート転送(静的IPマスカレード)を設定する

ネットワーク対応ゲームなどを使用する場合に、ソフトウェアメーカーが指定する設定に変更することが可能です。

設定内容につきましてはソフトウェアメーカーに確認をお願いします。
セキュリティ上の問題が発生する可能性がありますので、この設定を必要とするソフトウェアを使用しないときには、必ず削除してください。

※一部のソフトウェアでは、この設定を行っても利用できない場合もあります。



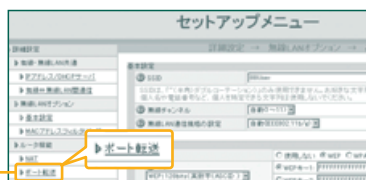
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、〔詳細設定モード〕(または〔詳細設定])をクリックします。

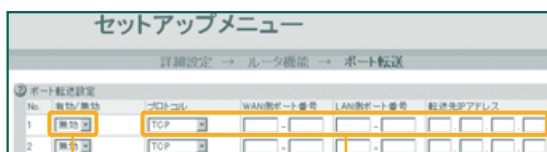


2

左側に表示されたメニューから〔ポート転送〕をクリックします。



3



「ポート転送設定」画面が表示されます。ご利用のアプリケーションに必要な設定内容を入力します。

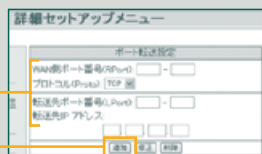
- ・〔プロトコル〕:
ご利用のアプリケーションが指定するプロトコルを選択します。
特に記載がない場合は(TCP/UDP)を選択します。
- ・〔WAN側ポート番号〕:
ご利用のアプリケーションが指定するポート番号を入力します。
- ・〔LAN側ポート番号〕(転送ポート番号):
転送先のポート番号を入力します。
特に指定のない場合は任意の番号を入力します。
- ・〔転送先IPアドレス〕:
ポート転送を行いたいパソコンやネットワーク機器が取得しているIPアドレスを入力します。



ここで設定するポート番号は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションの製造元のメーカーにお問い合わせください。

各項目を設定後、設定した番号を〔有効〕にします。

【光BBユニット<タイプA>の場合】
同様に各項目を設定後、[追加]をクリック
します。



4

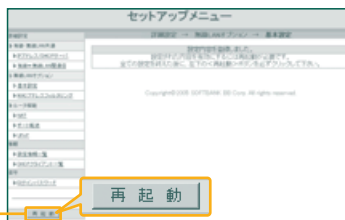
入力が終わったら、[OK] (または [保存]) をクリックします。

5

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、
左側のメニューの下に表示されている[再起
動]をクリックします。

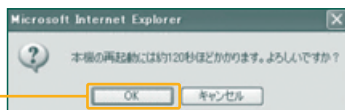


引き続き、「詳細設定モード」のその他の
設定を行う場合は、ここで[再起動]をク
リックせずに、左側のメニューから設定
したい機能をクリックしてください。



6

再起動状態を確認する画面が表示される場合
は、[OK]をクリックしてください。
ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起
動します。しばらくそのままお待ちください。



7

「セットアップメニュー」画面に戻ります。

以上でポート転送(静的IPマスカレード)の設定は完了です！



ポート転送の設定は、無線LANだけでなく、有線LAN(LANケーブ
ルを使ってモデムに接続)の場合にも行えます。詳しい設定方法は、
モデムに同梱の「セットアップガイド」をご覧ください。

UPnP機能を設定する

※Windows Me/Windows XP/Windows Vista/Windows 7のみUPnP機能に対応

UPnPは(Universal Plug and Play)は、パソコンや周辺機器をネットワークへ簡単に接続させるための規格です。通常、ルータに接続されたパソコンでは、インスタントメッセージやネットワークゲームなどが一部利用できなかったり、複雑な設定が必要になる場合がありますが、UPnPを利用することにより、UPnPに対応しているソフトウェアは特別な設定なしに使うことができます。

なお、初期値は「有効」に設定されています。



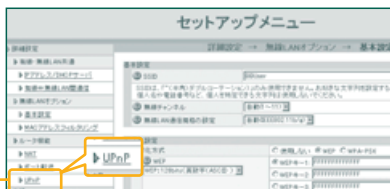
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、
「詳細設定モード」(または「詳細設定」)をクリックします。



2

左側に表示されたメニューから「UPnP」をクリックします。



3

「UPnP」画面が表示されます。
「有効」を選択し、
「OK」をクリックします。

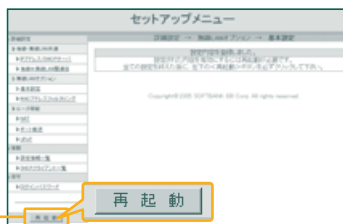


4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。

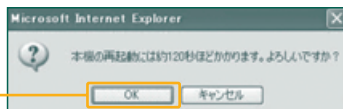


引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上でUPnP機能の設定は完了です！



UPnP対応ソフトウェアであっても、仕様によっては一部機能が利用できない、あるいはパソコンの設定変更等が必要になる場合もあります。詳しくは、各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。



UPnP機能の設定は、無線LANだけでなく、有線LAN（LANケーブルを使ってモデムに接続）でも有効となります。

パスワードを変更する

「セットアップメニュー」画面にログインするための
パスワードを変更することができます。



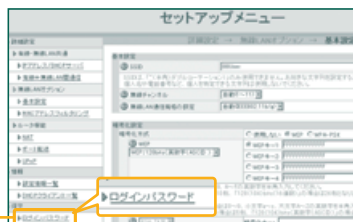
1

「セットアップメニュー」画面(P12)を表示し、**〔詳細設定モード〕**(または**〔詳細設定〕**)をクリックします。



2

左側に表示されたメニューから**〔ログインパスワード〕**(または**〔パスワード変更〕**)をクリックします。



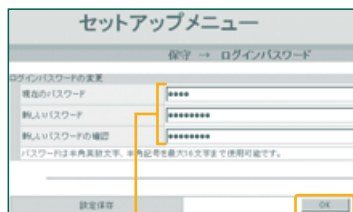
3

新しいパスワードを設定します。

- ・**〔現在のパスワード〕**：
現在のパスワードを入力します。
初期値は「user」(半角小文字)です。
- ・**〔新しいパスワード〕**：
変更したいパスワードを入力します。
- ・**〔新しいパスワードの確認〕**：
確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。
※パスワードは半角英数文字、半角記号を最大16文字まで使用可能です。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の
「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

〔OK〕(または**〔保存〕**)をクリックします。



お持ちのモデム機器によっ
て、初期値が異なる場合が
あります。
モデム用無線LANカードに
本誌以外の別紙が同梱され
ているお客様は、そちらの
案内も必ずお読みください。

4

「設定内容を登録しました。」と表示されたら、左側のメニューの下に表示されている〔再起動〕をクリックします。



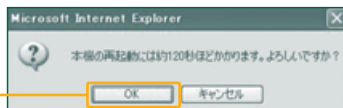
check

引き続き、「詳細設定モード」のその他の設定を行う場合は、ここで〔再起動〕をクリックせずに、左側のメニューから設定したい機能をクリックしてください。



5

再起動状態を確認する画面が表示される場合は、〔OK〕をクリックしてください。ここまでの設定内容が保存され、モデムが再起動します。しばらくそのままお待ちください。



6

「セッアップメニュー」画面に戻ります。

以上でパスワードの変更は完了です！



トリオモデム12Mの詳細設定

SSID を変更する

無線 LAN を暗号化する (WEPキーを利用する場合)

[SSIDとWEPキーを設定をする(トリオモデム12Mの場合)] (P18)をご参照ください。

無線チャンネルを変更する

無線LANの電波出力チャンネルを設定できます。初期設定(自動)のままでも自動的に効率の良いチャンネルを選択しますが、ノイズの影響などで通信が不安定な場合は、チャンネルを固定にすることで通信を安定させることができます。通常のご利用においては、特に変更する必要はありません。

※パソコン用無線LANアダプタ側での設定は不要です。



1

[セットアップメニュー] 画面 (P12) を表示し、左側に表示されたメニューから [詳細設定] をクリックします。

2

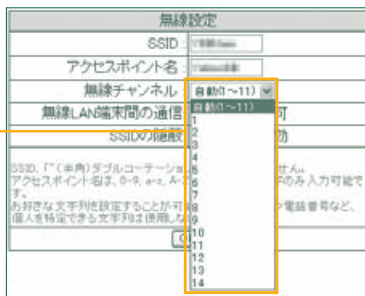
[詳細設定] メニューが表示されます。

[無線設定] をクリックします。

3

【無線設定】画面が表示されます。

【無線チャンネル】欄をクリックして、チャンネルを選択し、画面下の【OK】をクリックします。



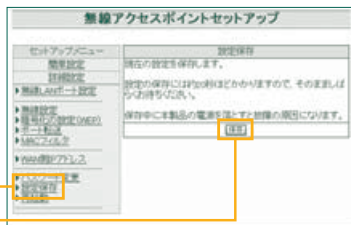
「12」～「14」を選択した場合、お使いのパソコン側の無線 LAN アダプタによっては通信できない場合があります。「1」～「11」の数字を選択されることを推奨します。

※お使いのパソコン側が「12」～「14」を利用可能かどうかは、無線 LAN アダプタメーカーにお問い合わせください。

4

左側に表示されたメニューから【設定保存】をクリックし、「設定保存」画面の【保存】をクリックします。

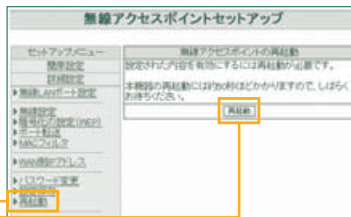
設定が保存されます。



5

左側に表示されたメニューから【再起動】をクリックし、「無線アクセスポイントの再起動」画面の【再起動】をクリックします。

モデムが再起動され、設定が反映されます。



無線チャンネルの設定は、以上で完了です。

無線 LAN 端末どうしの通信を制限する



モデムと複数台のパソコンを無線 LAN で接続する場合、パソコン間の通信を禁止できます。初期値は「許可」に設定されています。

1

「セットアップメニュー」画面 (P12) を表示し、左側に表示されたメニューから「**詳細設定**」をクリックします。

2

「**詳細設定**」メニューが表示されます。

「**無線設定**」をクリックします。

「**無線 LAN 端末間の通信**」の「**禁止**」をクリックし、画面下の「**OK**」をクリックします。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	無線設定
簡単設定	SSID
詳細設定	アクセスポイント名
無線 LAN ポート設定	無線チャンネル
無線 LAN の設定 (WEP)	無線 LAN 端末間の通信
ポート設定	SSID の隠蔽
MAC フィルタ	
WAN 接続アドレス	
インターネット変数	
設定保存	
再起動	

3

左側に表示されたメニューから「**設定保存**」をクリックし、「**設定保存**」画面の「**保存**」をクリックします。

設定が保存されます。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	設定保存
簡単設定	現在の設定を保存します。
詳細設定	設定の保存には約30秒ほどかかりますので、そのまましばらくお待ちください。
無線 LAN ポート設定	保存中に本製品の電源を落とすと故障の原因になります。
無線 LAN の設定 (WEP)	
ポート設定	
MAC フィルタ	
WAN 接続アドレス	
インターネット変数	
設定保存	
再起動	

4

左側に表示されたメニューから「**再起動**」をクリックし、「**無線アクセスポイントの再起動**」画面の「**再起動**」をクリックします。

モデムが再起動され、設定が反映されます。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	無線アクセスポイントの再起動
簡単設定	設定された内容を有効にするには再起動が必要です。
詳細設定	本機器の再起動には約30秒ほどかかりますので、しばらくお待ちください。
無線 LAN ポート設定	
無線 LAN の設定 (WEP)	
ポート設定	
MAC フィルタ	
WAN 接続アドレス	
インターネット変数	
設定保存	
再起動	

無線 LAN 端末どうしの通信の制限は、以上で完了です。

SSID の隠蔽を設定する

SSID を周囲に発信する機能を止め、パソコン側の検索機能などで無線 LAN のアクセスポイントを検出できないようにします。初期値は「無効」に設定されています。



SSID の隠蔽を「有効」にすると、パソコン側の設定変更が必要になる場合があります。ご利用の無線 LAN アダプタやパソコンに付属の説明書などでご確認ください。



1

【セットアップメニュー】画面を表示し、左側に表示されたメニューから【詳細設定】をクリックします。

2

【詳細設定】メニューが表示されます。

【無線設定】をクリックします。

【SSID の隠蔽】の【有効】をクリックし、画面下の【OK】をクリックします。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	無線設定
基本設定	SSID (初期値)
詳細設定	アクセスポイント名 (初期値)
無線LANポート設定	無線チャンネル (自動0~11)
無線設定	無線LAN端末間の通信 ☐ 禁止 ☒ 許可
無線LANの検索 (WEP)	SSIDの隠蔽 ☐ 無効 ☒ 有効
ポート設定	
MPEGフィルタ	
WPA2-PSKアクトレス	
パスワード変更	
設定保存	
再起動	

3

左側に表示されたメニューから【設定保存】をクリックし、【設定保存】画面の【保存】をクリックします。

設定が保存されます。

無線アクセスポイントセットアップ	
セットアップメニュー	設定保存
基本設定	現在の設定を保存します。
詳細設定	設定の保存には約30秒ほどかかりますので、そのまましばらくお待ちください。
無線LANポート設定	保存中に本製品の電源を落とすと故障の原因になります。
無線設定	
無線LANの検索 (WEP)	
ポート設定	
MPEGフィルタ	
WPA2-PSKアクトレス	
パスワード変更	
設定保存	
再起動	

4

左側に表示されたメニューから【再起動】をクリックし、「無線アクセスポイントの再起動」画面の【再起動】をクリックします。

モデムが再起動され、設定が反映されます。

SSID の隠蔽の設定は、以上で完了です。

使用者を制限する (MAC アドレスフィルタリングの設定)

モデムにパソコン側で使用される無線 LAN アダプタの MAC アドレスを登録し、登録されていない無線 LAN アダプタからはネットワークに接続できないように設定します。最大 8 台の登録が可能です。



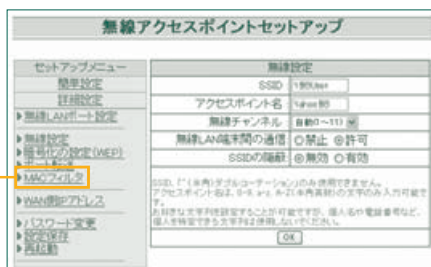
1

【セットアップメニュー】画面を表示し、左側に表示されたメニューから【詳細設定】をクリックします。

2

[詳細設定] メニューが表示されます。

「[MAC フィルタ]」をクリックします。



3

[MAC フィルタリング設定] 画面が表示されます。

[MAC フィルタリング設定] で [有効] をクリックし、ご利用の無線 LAN アダプタの MAC アドレスを [MAC アドレス] 欄に入力します。

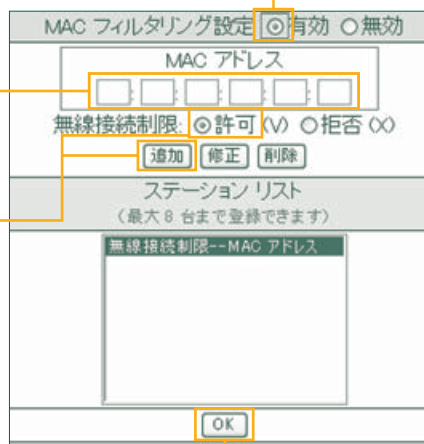
[無線接続制限] の [許可] をクリックし、[追加] をクリックします。—

ヒント

複数のパソコンで無線 LAN を利用するときは
手順 ③ をくり返して、接
続を許可する無線 LAN
通信機器の MAC アドレス
を登録します。



ここをクリック

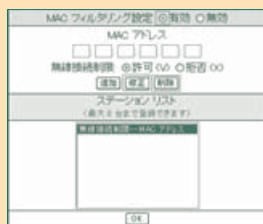


画面下の「OK」をクリックします。

ヒント



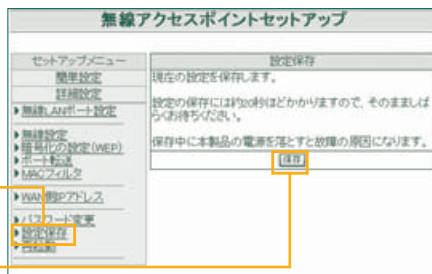
MAC アドレスによる使用制限を解除するには「無効」を選択してください。登録した MAC アドレスを修正／削除するには「ステーションリスト」から修正／削除する MAC アドレスを選択した後、MAC アドレスを修正し、「修正」をクリックします。削除する場合は「削除」をクリックします。



4

左側に表示されたメニューから「設定保存」をクリックし、「保存」をクリックします。

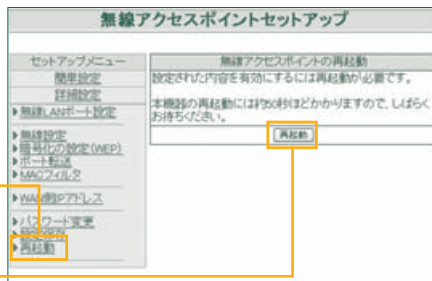
設定が保存されます。



5

左側に表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「無線アクセスポイントの再起動」画面の「再起動」をクリックします。

モデムが再起動され、設定が反映されます。



使用者の制限（MAC アドレスフィルタリング）の設定は、以上で完了です。

割当 IP アドレスを設定する

ネットワークの設定や利用するアプリケーションによってはパソコンやネットワーク接続機器に IP アドレスを固定する必要があります。割当 IP アドレスを固定したい場合は、次の手順で設定をしてください。

※この設定では、グローバル IP アドレスを固定することはできません。



1

【セットアップメニュー】画面を表示し、左側に表示されたメニューから【詳細設定】をクリックします。

2

【詳細設定】メニューが表示されます。

【無線 LAN ポート設定】をクリックします。

3

【無線 LAN ポート設定】画面が表示されます。

【無線 LAN サブネット設定】欄に IP アドレス (192.168.3.1) とサブネットマスク (255.255.255.0) が表示されます。

※通常は初期値のままでお使いいただけます。

4

【割当 IP アドレスの一覧設定】欄で、IP アドレスと MAC アドレスを設定します。

IP アドレス : 無線 LAN アダプタに割り当てたい IP アドレス

MAC アドレス : 無線 LAN アダプタの MAC アドレス

※入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

【追加】をクリックします。



- ・ 無線 LAN アダプタ、無線 LAN 内蔵パソコンなどの無線 LAN 通信機器の MAC アドレスの確認方法については、製品に付属の説明書を参照してください。
- ・ 次回の設定時にも変更した IP アドレスの入力が必要になります。

ヒント

複数のパソコンを設定する場合には手順 ④ をくり返して、割当 IP アドレスを登録します。

5

割当 IP アドレスをすべて設定したら画面下の【OK】をクリックします。

6

左側に表示されたメニューから【設定保存】をクリックし、「設定保存」画面の【保存】をクリックします。

設定が保存されます。

7

左側に表示されたメニューから【再起動】をクリックし、「無線アクセスポイントの再起動」画面の【再起動】をクリックします。

モデムが再起動され、設定が反映されます。

IP アドレスの設定は、以上で完了です。

ポート転送(静的 IP マスカレード)を設定する

ネットワーク対応ゲームなどを使用する場合に、ソフトウェアメーカーが指定する設定に変更することが可能です。

設定内容につきましてはソフトウェアメーカーに確認をお願いします。
セキュリティ上の問題が発生する可能性がありますので、この設定を必要とするソフトウェアを使用しないときには、必ず削除してください。
※一部のソフトウェアでは、この設定を行っても利用できない場合もあります。



1 [セットアップメニュー] 画面を表示し、左側に表示されたメニューから [詳細設定] をクリックします。

2 [詳細設定] メニューが表示されます。
[ポート転送] をクリックします。

3 [ポート転送設定] 画面が表示されます。
ソフトウェアメーカーの指定する設定内容を入力します。

●設定内容

WAN 側ポート番号：

インターネットからアクセスされるポート番号を入力します。

プロトコル：

「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」を選択します。

転送先ポート番号：

転送先のポート番号を入力します。

転送先 IP アドレス：

転送したい IP アドレスを入力します。

[追加] をクリックします。

画面下の [OK] をクリックします。

4 左側に表示されたメニューから [設定保存] をクリックし、「設定保存」画面の [保存] をクリックします。
設定が保存されます。

5 左側に表示されたメニューから [再起動] をクリックし、「無線アクセスポイントの再起動」画面の [再起動] をクリックします。
モデムが再起動され、設定が反映されます。

ポート転送（静的 IP マスカレード）の設定は、以上で完了です。

パスワードを変更する



「セットアップメニュー」画面にログインするためのパスワードを変更することができます。

1

「セットアップメニュー」画面を表示し、左側に表示されたメニューから「詳細設定」をクリックします。

2

「詳細設定」メニューが表示されます。
「パスワード変更」をクリックします。

3

「パスワード変更」画面が表示されます。

新しいパスワードを設定します。

現在のパスワード：

現在のパスワードを入力します。

初期値は「user」（半角小文字）です。

新しいパスワード：

変更したいパスワードを入力します。

新しいパスワードの確認：

確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。

入力した情報は、お忘れのないよう、本冊子巻末の「設定情報一覧表」に記入をお願いいたします。

画面下の「OK」をクリックします。

トリオモデム12Mの詳細設定

詳細設定

お持ちのモデム機器によって、パスワードの初期値は異なります。

モデム用無線 LAN カードに本誌以外の別紙が同梱されているお客様は、そちらのご案内も必ずお読みください。



4

左側に表示されたメニューから「設定保存」をクリックし、「設定保存」画面の「保存」をクリックします。設定が保存されます。



再度ログイン画面が表示されることもあります。その場合は新しいパスワードを入力してください。

5

左側に表示されたメニューから「再起動」をクリックし、「無線アクセスポイントの再起動」画面の「再起動」をクリックします。

モデムが再起動され、設定が反映されます。

パスワードの変更は、以上で完了です。

トラブル解決Q&A

無線LANをご利用中に何らかの問題が発生したら、まずその原因を調べる必要があります。ここではよくある問題を具体的にリストアップして、それぞれ原因として考えられる要素をまとめています。該当する項目を参考にしてください。



下記をご覧くださいいても解決しない場合は、モデムに同梱されているお問い合わせ先一覧をご覧くださいのうえ、お電話またはメールにてご連絡ください。

▶ 無線LANパックを申し込んだモデム1台につき、パソコンは何台まで接続可能ですか？ P.72

▶ 1台のモデムから無線LANで接続しているパソコンと、有線LANで接続しているパソコン間では、通信できますか？ P.72

▶ 自宅で無線LANを使う場合、壁越しに通信できますか？ P.72

▶ 無線LANパックにはどんなセキュリティが設定できますか？..... P.72

▶ 通信距離はどれくらいですか？ P.73

▶ 利用可能なパソコン用無線LANアダプタの規格を教えてください。... P.73

▶ 電波が受信できて、SSIDやWEPキーの設定も確認したのに、インターネットに接続できません。 P.73

▶ モデムに設定したSSID、WEPキーを忘れてしまいました。 P.73

▶ 新たに購入したパソコンで無線LANが利用できません。 P.73

▶ 複数台のパソコンで無線LANを利用するにはどうすればいいですか？ P.74

▶ モデムの「無線LAN」(またはモデム用無線LANカード)のランプが点灯せず、無線LANが利用できません。 P.74

▶ 無線LANで接続している複数のWindows/パソコンどうして、ファイルやフォルダの共有はできますか？ P.75

▶ モデムの「セットアップメニュー」画面に入れません。 P.77

Q 無線LANパックを申し込んだモデム1台につきパソコンは何台まで接続可能ですか？

A 無線LANパックをご利用のモデム1台につき、最大で64台までパソコンを接続することが可能です。ただし、これは理論上の台数であり、実際には数台までのご利用を推奨いたします。

Q 1台のモデムから無線LANで接続しているパソコンと、有線LANで接続しているパソコンの間では、通信できますか？

A 通信できます。また、逆に通信できないように設定することも可能です。詳しくは「有線LANと無線LANの通信を制限する」(→P53)をご覧ください。

Q 自宅で無線LANを使う場合、壁越しに通信できますか？

A 基本的には可能ですが、壁の材質によっては通信できない場合もあります。特に金属やコンクリート、大理石など、電波を通しにくい素材越しの通信は、不安定になる場合があります。

Q 無線LANパックにはどんなセキュリティが設定できますか？

A 無線LANパックでは、複数のセキュリティ設定が可能です。SSIDの変更やMACアドレスフィルタリング、WEPなどで、アクセス制限をかけたり、盗聴を防止するためにデータを暗号化したりする設定が可能です。またパソコン間の通信(ファイルの共有など)をできないように設定することも可能です。

※MACアドレスフィルタリング

イーサネット(無線LAN)アダプタは1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の番号が割り当てられています。アクセスを許可するアダプタのMACアドレスを登録すると、登録されていないコンピュータのアクセスを拒否できます(→P39、65)。

※SSIDの隠蔽

SSIDを周囲に発信する機能を止めます。パソコン側の検索機能などで無線LANのアクセスポイントを検出できないようにし、不正アクセスを防ぐことができます(→P50、64)。

トラブル解決Q&A

Q 通信距離はどれくらいですか？

A 無線LANの電波は、屋内で約25～50m(障害物のない場合の最大)まで届きますが、ご家庭ではモデムの置かれている場所やお使いのパソコン、およびその間の障壁となりうる壁などの材質により電波状態が悪くなる場合があります。特に金属やコンクリート、大理石など電波を通しにくい素材に囲まれた場所では、近距離でも電波が届かない場合があります。また電子レンジが動作しているとき、その周りでは電波が妨害される可能性があります。正常に通信が行えない場合は、モデムとパソコンの距離を近づけ、通信が正常に行えるかどうかご確認ください。

Q 利用可能なパソコン用無線LANアダプタの規格を教えてください。

A IEEE802.11g/b規格に準拠したパソコン用無線LANアダプタが利用できます。

Q 電波が受信できて、SSIDやWEPキーの設定も確認したのに、インターネットに接続できません。

A パソコン側のIPアドレスが固定されていて、DHCPサーバーを参照しにいけないためにインターネットに接続できない場合があります。パソコンのインターネットプロトコル(TCP/IP)の設定を確認し、IPアドレスとDNSサーバーのアドレスが「自動取得」に設定されているかどうか確認してください。確認方法は各パソコンメーカーにお問い合わせください。なお、初期設定の状態であれば、「自動取得」に設定されています。

Q モデムに設定したSSID、WEPキーを忘れてしまいました。

A モデムに設定したSSID、WEPキーは「セットアップメニュー」で確認できます。

- ・トリオモデム26M/トリオモデム3-G/トリオモデム3-G plus/BBモデム4-Gをご利用の場合
→P17に記載の「ヒント」をご参照ください。
- ・トリオモデム12Mの場合
→P18に記載の「SSIDとWEPキーを設定する」(トリオモデム12Mの場合)に記載の手順でご確認ください。
- ・光BBユニット<タイプA>の場合
→P12に記載のセットアップメニューより、[簡単設定モード]をクリックしてご確認ください。

Q 新たに購入したパソコンで無線LANが利用できません。

A 新たに購入したパソコンで無線LANを利用する場合、そのパソコンに対してあらかじめ無線セキュリティ設定を行う必要があります。モデムに設定したSSID、WEPキーをご確認のうえ、パソコンへ設定を行ってください(→P22)。

※セキュリティ設定を行っているモデムに対しては、あらかじめ設定いただく必要はありません。

※パソコンへのセキュリティ設定方法の詳細、およびパソコン用無線LANアダプタの設定方法につきましては、付属の取扱説明書などをご確認いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

Q 複数台のパソコンで無線LANを利用するにはどうすればいいですか？

A 複数台のパソコンで無線LANを利用する場合、無線LANで接続するすべてのパソコンに対して無線セキュリティ設定を行う必要があります。モデムに設定したSSID、WEPキーをご確認のうえ、各パソコンへ設定を行ってください(→P22)。

※セキュリティ設定を行っているモデムに対しては、あらためて設定いただく必要はありません。

※パソコンへのセキュリティ設定方法の詳細、およびパソコン用無線LANアダプタの設定方法につきましては、付属の取扱説明書などをご確認いただくか、各メーカーへお問い合わせください。

Q モデムの「無線LAN」(またはモデム用無線LANカード)のランプが点灯せず、無線LANが利用できません。

A LANケーブルを接続した状態(有線LAN)ではインターネットにアクセスできるのに、モデムの「無線LAN」ランプが点灯せず、無線LANが利用できない場合は、いったんモデムの電源を切り、モデム用無線LANカードを装着し直してみてください。

モデム用無線LANカードを装着する際は、カードの向きを確認し、スロット(差込口)に対してまっすぐに、しっかりと奥まで差し込むようにしてください(→P10)。

モデム用無線LANカードを正しく装着し直したら、その後モデムの電源を入れて数分待ち、「無線LAN」ランプが点灯するかどうか確認してください。

上記の手順を2、3回繰り返し、それでも「無線LAN」ランプが点灯しない場合は、お手数ですが、モデムに同梱されているお問い合わせ先一覧をご覧ください。お電話またはメールにてご連絡ください。

モデム用無線LANカードの ランプ位置

カード上面に緑色の小さいランプが2つ付いています(「Link」ランプ、「Power」ランプ)。

ランプ(2つ)



※ イラストは一例です。

※ カードの種類によっては、ランプが1つの場合もあります。

トラブル解決Q&A

Q 無線LANで接続している複数のWindowsパソコンどうして、ファイルやフォルダの共有はできますか？

A 無線LANに接続しているパソコン間のファイルやフォルダの共有は可能です。ここでは、簡単に設定の流れだけをご紹介します。具体的な操作手順についてはお使いのパソコンの取扱説明書やヘルプ機能などをご参照ください。

■ファイル、フォルダを置いている側のパソコン

- ① お使いのパソコンに「Microsoftネットワーク用クライアント」と「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)がインストールされていることを確認します。

※確認方法については、右ページの「「Microsoftネットワーク用クライアント」・「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)の確認方法」をご覧ください。

- ② ファイルやフォルダを共有するようネットワーク設定を変更します。

- ③ 共有したいフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」を選択して「共有する」をチェックします。ファイルを共有したい場合には、共有したフォルダの中に置きます。直接には共有の設定はできません。

■参照する側のパソコン

- ① お使いのパソコンに「Microsoftネットワーク用クライアント」と「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)がインストールされていることを確認します。

※確認方法については、右ページの「「Microsoftネットワーク用クライアント」・「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)の確認方法」をご覧ください。

- ② ファイルやフォルダを共有するようネットワーク設定を変更します。

- ③ エクスプローラやデスクトップの「マイネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」アイコンから「ネットワーク全体」を経由して、共有されているフォルダやその中にあるファイルを参照します。

「Microsoftネットワーク用クライアント」・「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」(または「Microsoftネットワーク共有サービス」)の確認方法

Windowsの種類によって、確認の手順が異なります。

【Windows Vistaの場合】

「コントロールパネル」→「ファイルの共有の設定」→「ネットワーク接続の管理」
→(共有したいネットワークの)「接続」をクリック

【Windows XPの場合】

「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット接続」
→「ネットワーク接続の管理」→(共有したいネットワークの)「接続」を右クリック
→「プロパティ」

【Windows 2000の場合】

「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」

【Windows 98/Meの場合】

「コントロールパネル」→「ネットワーク」

それぞれの手順で、「Microsoftネットワーク共有サービス」と「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がインストールされていることを確認してください。

※ ①のサービスをインストールする必要がある場合、お使いの機種によってはWindowsのインストール用CD-ROMが必要になることがあります。

※お使いのパソコンの機種・環境によっては①、②の操作が不要な場合もあります。

※Windowsのバージョンによって、具体的な操作手順やサービス名称が異なります。

※詳細設定モードの「無線LAN端末どうしの通信の制限」(→P37、63)で【禁止】を設定している場合には、ファイルやフォルダの共有はできません。

トラブル解決Q&A

Q モデムの「セットアップメニュー」画面に入れません。

A モデムの「セットアップメニュー」画面にログインできない場合は、次の点をご確認ください。

① LANケーブルで接続（有線LAN）していることを確認してください。

有線LANでのインターネットが可能な状態でないと、「セットアップメニュー」画面には入れません。まずは、モデムに同梱の「セットアップガイド」に従い、LANケーブルを使った通常の接続でインターネット利用が可能な環境になってから「セットアップメニュー」にログインしてください。

② モデムにモデム用無線LANカードが装着された状態かどうか確認してください。

もし装着されている場合はモデムの電源を切ったあとにモデム用無線LANカードを取り外し、しっかりと奥まで差し込んでからモデムの電源を入れてください。

③ パソコンに接続した無線LANアダプタを取り外した状態で「セットアップメニュー」画面にログインできるかどうか確認してください。無線LANアダプタ内蔵タイプのパソコンをご利用の場合は、パソコンの無線LAN機能を「無効」にした状態でご確認ください。

④ パーソナルファイアウォール機能を解除してください。

市販のウイルス対策ソフトウェア、ファイアウォール機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、ファイアウォールの機能を解除してください。解除方法はそれぞれのソフトウェアのマニュアルを参照いただくか、各メーカーにお問い合わせください。

⑤ Internet Explorerのセキュリティ設定を確認してください。

Internet Explorerを起動し、「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択、「インターネットオプション」画面を開きます。

まず、「セキュリティ」タブを選択して、「このゾーンのセキュリティのレベル」欄の[既定のレベル]をクリックし、セキュリティレベルを既定値に戻します。

続いて、「接続」タブを選択して、「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」欄の[LANの設定]をクリックし、「プロキシサーバー」欄の「LANにプロキシサーバーを使用する(これらの設定はダイヤルアップまたはVPN接続には適用されません)」の□のチェックを外します。

[OK]をクリックして「インターネットのプロパティ」画面を閉じてください。

⑥ モデムとパソコンの間にルータやHUB（ハブ）を接続している場合は、いったんそれを取り外し、モデムとパソコンを直接つないでください。

⑦ 「セットアップメニュー」画面のアドレスを間違えていないか、確認してください。

「セットアップメニュー」画面にログインするには、Internet Explorerの「アドレス」欄に「http://172.16.255.254/」と半角英数文字で入力します。

⑧ ブラウザとして、Internet Explorer 5.5以上を使用しているか確認してください。

①～⑧を確認し、それでも「セットアップメニュー」画面にログインできない場合は、お手数ですが、モデムに同梱されているお問い合わせ先一覧をご覧ください。電話またはメールにてご連絡ください。

無線LANバック 設定情報一覧表

無線LANバックの設定情報をまとめてご記入ください。必要な情報がひと目でわかるので、電話やメールでお問い合わせいただく際にご参照いただくと、とても便利です。

また、ご自身が設定情報をお忘れになった場合の備えとしても、ぜひご活用ください。

無線LANバックの設定情報		無線LANバックに設定いただいた情報をご記入ください。
必ず変更	SSID（ネットワーク名）	（初期値：BBUser*⇒）
	暗号化（WEPキー）	（初期値：未設定⇒）
変更した場合	IPアドレス	（初期値：192.168.3.1⇒） . . .
	ユーザー名	user*⇒
	パスワード	（初期値：user*⇒）

* お持ちのモデムによって異なる場合があります。モデム用無線LANカードに本誌以外の別紙が同梱されているお客様は、そちらのご案内にてご確認ください。

※ SSID、WEPキーをお忘れになると、無線LAN接続ができなくなります。変更されたSSID、WEPキーは、必ずご記入ください（大文字／小文字、全角／半角の区別にご注意ください）。

その他の情報 （自由記入欄）	上記のほか、メモしておきたい情報などがありましたら、ご自由にご記入ください。
	例） お使いのパソコンのOSのバージョン、お使いの無線LANアダプタ（カード）の型番、無線LANアダプタ（カード）のMACアドレスなど

■その他、お問い合わせの際にご用意いただくと便利なもの

- ・「無線LANバック セットアップガイド」（本冊子）
- ・モデムに同梱の冊子／チラシ類（「セットアップガイド」など）
- ・お使いのパソコンおよび無線LANアダプタ（カード）の取扱説明書など

- 「ソフトバンク」、「 SoftBank」は当社またはグループ会社の登録商標または商標です。
- 本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- 本冊子の他社製品などに対する記述は、参考または情報を提供する目的で書かれたものであり、記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
- 記載内容は2015年7月17日現在のものです。
- サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OSは米国Apple Computer Inc.の商標または登録商標です。
- その他、記載されている製品名、会社名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- 本冊子の本文中では、™、®マークは明記しておりません。